

対象年度	令和 8年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート					
事務事業名	児童生徒自立支援事業							予算事業名	児童生徒自立支援事業費				
予算科目	会計	01	款	10	項	01	目	03	事業	11	要求区分	結城市生徒指導相談員設置規則、結城市教育支援センター運営規則	
			經常経費		事業の区分		主要事業						
総合計画体系	未来を担う子どもと 生き生きした市民を育む地域を目指そう 地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり 安心して学べる学校づくりの推進							担当課係等	学校教育課 指導課				
	事業期間 継続 (昭和63年度～ 年度)												
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
学校とは異なる場所である教育支援センターフレンド「ゆうの木」にて適応指導を行い、問題を抱える児童生徒を集団生活へ適応促進させる。							教育支援センターや適応指導教室は、県内全ての市町村に設置されており、利用者は年々増加している。						
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】						
生徒指導相談員 (会計年度任用職員報酬) 4名、助手 (謝礼) 5名により「ゆうの木 (北・南教室)」で指導を行う。 1日の体制「ゆうの木北教室」相談員1人、助手2人 「ゆうの木南教室」相談員1人、助手1人 ※「ゆうの木南教室」令和6年10月から設置							問題を抱えている児童生徒						
							【事業をとりまく環境の変化】						
							学校不適応児童生徒の増加に伴い、本人だけでなくその保護者にも支援を実施する場所と機会を提供する。保護者からのニーズは高まっている。						
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】					
<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導相談員助手謝礼 スクールカウンセラー謝礼 ゆうの木 (北・南教室) の施設管理経費 				<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導相談員助手謝礼 スクールカウンセラー謝礼 ゆうの木 (北・南教室) の施設管理経費 				<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導相談員助手謝礼 スクールカウンセラー謝礼 ゆうの木 (北・南教室) の施設管理経費 					

■ 事業費

		R06年度	R07年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	0	0			
	県 支 出 金	0	0			
	地 方 債	0	0			
	そ の 他	0	0			
	一 般 財 源	2,884	2,787			
歳 入 計 (千 円)		2,884	2,787			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	07 報償費	2,374	2,120			
	10 需用費	133	130			
	11 役務費	231	314			
	13 使用料及び賃借料	146	223			
歳 出 計 (千 円) (A)		2,884	2,787			
伸 び 率 (%)			-3.36			
備 考	総合計画 9 9 ページ 予算書 1 8 2 ページ					

令和 6年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	教育支援センターフレンド「ゆうの木」における相談実施件数	件	目標	3,000.00	3,000.00	3,000.00
			実績	2,468.00	0.00	0.00
	生徒指導相談員助手	人	目標	5.00	5.00	5.00
			実績	5.00	5.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	不登校児童生徒数は増加傾向にあるため、必要性は非常に高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政が実施する事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	改善がみられる児童生徒や「ゆうの木」を居場所として感じている児童生徒がいる。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	「ゆうの木」の利用希望者が増加している現状を考慮すると、生徒指導相談員や助手の増員が必要になる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	ゆうの木南教室の開設により、児童生徒の利用しにくさは解消された。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	成果を図る指標設定が困難である。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	「ゆうの木」としては順調に進んでいるが、内教育支援センターの新設により、学びの多様化によるニーズに応えられると思われる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
不登校児童生徒の解消は簡単ではなく、居場所を確保し様々なニーズに対応できるようにすることである。校内教育支援センターを設置するために、人員や場所が必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
校内教育支援センターの新設により、学びの多様化によるニーズに応えられると思われるため、人員や場所の検討を進める。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
方向性の具体的内容 不登校児童生徒は、ますます増加するものと思われる。南部にも「ゆうの木」を設置すること、各校に校内教育支援センターを設置することについて、拡充を図っていきたい。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	
管理課連絡欄	